

「JA集出荷システム」で、 集出荷場の業務を大幅に効率化!

“紙の伝票による集荷”“集出荷場での手入力”をクラウド化し効率化を実現

J Aにおける集出荷場の業務は、品目や産地特性により業務形態もさまざまですが、「J A集出荷システム」(図1)は、主に個選品で等階級の多い品目を取扱う集出荷場でその威力を発揮しています。

今号では、集出荷場での業務の効率化をサポートする「J A集出荷システム」を紹介します。

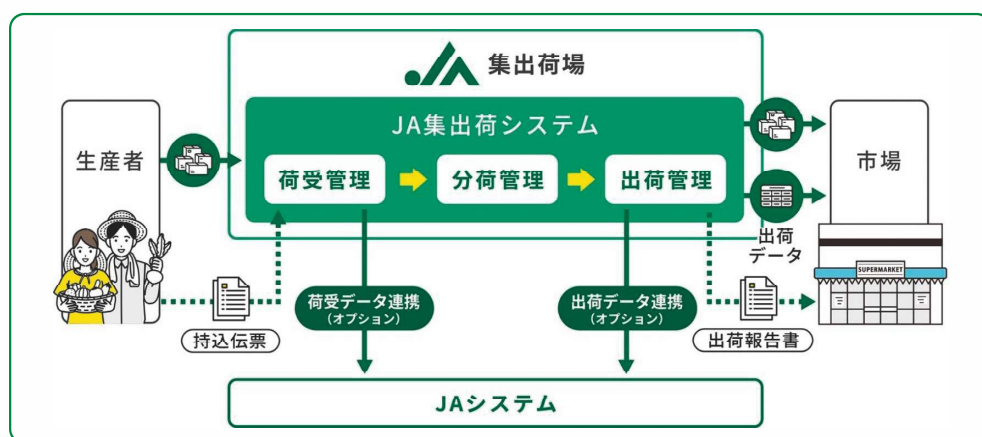


図1 「J A集出荷システム」

集出荷場の業務実態と課題

個選で等階級の多い品目を取扱う場合、事務作業を含め現場の作業は必然的に煩雑になってきます。主な作業を列挙すると次のとおりになります。

①生産者が持参する手書き伝票と現物を突き合わせます

手書きのため等階級や数量の間違いがあり、現物との照合に時間がかかります。

②生産者伝票を積算しながら、集荷量を把握します

積算はメモかエクセルで管理しているため、間違いが多く時間がかかります。品目によっては、冷蔵庫内で長時間の作業を強いられます。

③集荷量が確定したら、出荷先別にこれを分荷し、出荷報告書を作成します

出荷報告書は手書き、もしくはエクセルなどで作成します。

本システムによる解決策の提示

全農本所園芸部では、こうした集出荷場の業務を効率化する最適なツールとして「J A集出荷システム」を用意し、JFEエンジニアリング(株)の技術サポートのもと、全農県本部を通じてJ Aに案内しています。

荷受管理

生産者にあらかじめバーコードシール(図2)を配り、自身が出荷する箱にシールを貼り付けたうえで、集荷場に持ち込んでもらっています(写真1)。集荷場では、検

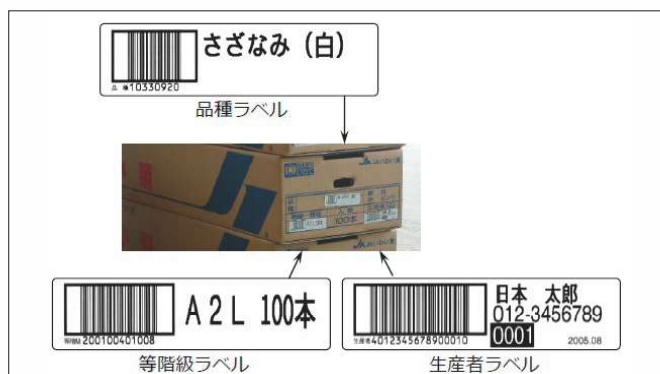


図2 バーコードシール



写真1 出荷箱のバーコードシールを専用端末で読み込むJ A職員

品とあわせてバーコードリーダーで荷受情報を読み取ります。これまでの「伝票と現物の突き合せ」「手書きもしくはPC手入力による集計」がバーコード読み取りになったことで、荷受情報を迅速に把握でき、しかも正確な数量管理が実現しました。

分損決定入力				
出月日	2021年5月24日(内)		品別	レース 全競馬
	レース	競馬	競馬レース	S K 全競馬
出走先 1番 売	連点区分 009 重賞車	トコックNo.	住商先	
1番 売	結託区分 006 重賞車			☐

● 他環境未承認する

● 他の品目・品種をえらぶ

● 入力した内容で登録する

拠点	ロットNo	規格	荷受 実数	分割機	直 売									
					出走先 1	出走先 2	出走先 3						出走先 4	出走先 5
					009 006 み P	009 006 み P	009 006 み P	009 006 み P	007 001 み P	007 001 み P	007 001 み P	007 001 み P	007 001 み P	007 001 み P
A国営センター	21052400	A 6 玉	115	0									115	
A国営センター	21052400	A 8 玉	86	0									86	
A国営センター	21052400	A 1 0 玉	7	0									7	
(パンダ等) ケース取違					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(158) 158	(0) 0
分割機					0	0	0	0	0	0	0	0	0	158
分割計画					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B国営センター	21052400	A 6 玉	140	0									140	
B国営センター	21052400	A 8 玉	294	0									294	
B国営センター	21052400	A 1 0 玉	29	0									29	
(パンダ等) ケース取違					(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(168) 168	(0) 0
分割機					0	0	0	0	0	0	0	0	0	168
分割計画					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
規程別合計					0	0	0	0	0	0	0	0	325	0
A 6 玉		255	0										179	
A 8 玉		361	0										140	
A 1 0 玉		36	0										7	

出荷報告書				
出荷No.		運送会社	輸送区分	トラックNo.
584383		001 ○○運輸	001 保冷車	1234

販売先	出荷日	販売予定日	農協コード	農協名
12345 A卸売市場	2021年 5月24日(月)	2021年 5月25日(火)	12345	J A○○○○ △△△△集出荷場
品名	荷姿	量	訂正区分	理由
露地レタス 5 K	D B (D B)	5.00 (5.00 x 1)		通常

	A	マルA	B	C	・
6コ	115				
8コ	36				
10コ	7				
12コ					
・					
小計	158				
合計					158

予約相対区分	委託販売	気付先	
--------	------	-----	--



分荷管理

荷受情報は迅速に集計されてPC画面に表示され、PC画面上から各出荷先に分荷ができます。クラウドなので事務所にいなくても数量確認が可能であり、複数拠点の集荷も一括集計して確認できるなど、荷受けから分荷、出荷までの煩雑な作業およびタイムラグをPC画面表示で一気に解消しました（図3）。

出荷管理

分荷が確定すれば、PC画面上に出荷報告書（図4）が自動で作成され、出力されます。

J A職員にとって“渡りに船”のツールであり、集出荷業務の要員削減と時間短縮を実現して営農指導の充実にも貢献する(図5)、まさに“一石二鳥”の機能で課題を解決しています。

今後の「JA集出荷システム」については、産地における集出荷業務の効率化にとどまらず、青果物流通全体の業務効率化・標準化も視野に入れて取り組むことにしています。

この取り組みにより、業界全体で出荷情報の共有速度が向上すれば、集出荷業務の効率化、営農指導の充実にとどまらず、卸売市場における迅速な販売や物流の効率化など、さまざまな分野への好影響が期待できます。

【全農 園芸部 園芸流通・システム課】